



平成 25 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 新興プランテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉川 善治
(コード番号 6379 東証第 1 部)
問合せ先 取締役 常務執行役員
池田 俊明 (TEL 045-758-1950)

第 5 次中期計画の概要について

当社は、2013 年度を初年度とする新たな「第 5 次中期計画－事業ポートフォリオ変革に向けた更なる取組」(2013 年度から 2015 年度まで)を策定いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

1. 第 4 次中期計画の総括

当社グループは、第 4 次中期計画(2010 年度～2012 年度)において、経営ビジョンとして、『全ての設備に対応できるエンジニアリング能力のある「総合プラントメンテナンス企業」を目指し、国内事業では石油・石油化学分野でのトップシェアを維持し続けるとともに、一般化学、食品、医薬品、電力などの一般工業分野での事業を拡大、海外事業では、中国および東南アジアを中心に積極的に事業展開を図る。さらに、事業拡大と成長に向けて、新規分野・新規事業を開拓する。これにより、当社グループの事業ポートフォリオを変革し、成長し続ける』ことを掲げ、その実現のためのファーストステップとして活動を展開してまいりました。

◆ 石油・石油化学分野でのトップシェアの維持・拡大

石油・石油化学業界における国内の石油製品の需要減少や国際的な競争激化などを背景とした過剰な石油・石油化学設備の停止・廃止等の動きの中で、メンテナンスや設備投資の抑制の影響を受け、第 4 次中期計画期間中の受注環境は非常に厳しい状況で推移しました。その中で、新たな顧客に対するメンテナンス参入やメンテナンスエリアの拡大などによりシェアの獲得に努め、一部に成果として実現できました。

◆ 一般化学、食品、医薬品、電力などの一般工業分野の事業拡大

一般工業分野の Front End Engineering Design 段階からの案件の受注獲得に向け対応体制を強化し、取引の薄かった食品、化学業界等からの実績を積み上げてきました。また、これまで拠点の無かった四国地区の化学会社に対するエリアメンテナンスへ参入し、四国地区での業務基盤の拡大に努めました。事業ポートフォリオ多様化の観点からは、石油・石油化学に続く成長分野の柱として安定させるために、引き続き取り組みを強化していく必要があります。

◆ 中国および東南アジアの日系企業を中心とした積極的な海外事業展開

海外事業の拡充については、海外事業体制の強化を目的に組織編成を整備するとともに、海外子会社の拡充、新たな子会社の設立など、海外案件の積極的な獲得と海外拠点の強化に努めてまいりました。しかしながら、一部の工事案件において、厳しい価格での受注に加え、専門性の高い工事であったことや海外プロジェクトの経験の浅さに起因するコスト上昇もあって、不採算案件が発生いたしました。これらの結果・経験から、今後の海外展開に対する課題がより明らかとなりました。

◆ 総括

第 4 次中期計画期間中は、全般的に経済環境の悪化、石油・石油化学分野におけるメンテナンスコストや設備投資抑制の影響を受け、業績的にも第 3 次中期計画の期間中であった平成 20 年度をピークとして、厳しい状況で推移しました。加えて、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災に伴い、第 4 次中期計画 2 年目は被害を受けた顧客設備の復旧工事への対応を最優先課題として掲げ、全社をあげて取り組んだことで、中期計画の諸施策に注力しきれなかった影響もあり、想定した成果・効果を得るには至らず、業績目標については未達という結果になりました。しかしながら、課題の積み残しはあるものの、事業戦略に沿った施策が、一部成果として進展したところもあり、当初掲げた計画で目指した方向性は有効であると認識しています。

2. 第5次中期計画

I. 経営ビジョン

第5次中期計画では、第4次中期計画の基本路線の大きな修正は行わず、そのコンセプトを踏襲し、『全ての設備に対応できるエンジニアリング能力のある「総合プラントメンテナンス企業」』を目指し、「事業ポートフォリオの変革」に向けた第2ステップとして位置づけ、次の経営ビジョンを掲げ展開していきます。

経営 ビジ ョン	事業コンセプトとして「One to One Maintenance」を掲げ、お客様のニーズに対して安全・安心で高品質な最適のサービスを提供することで、社会・顧客から信頼、満足される企業を目指します。
	コア事業であるメンテナンスにおいては、石油・石油化学分野でトップシェアを維持していくとともに、その他一般工業分野での事業を拡張し、あらゆる設備に対応できるエンジニアリング能力を備えた「総合プラントメンテナンス企業」として、成長し続けてまいります。
	中国および東南アジアを中心とした海外事業の基盤強化に継続して取り組み、国内と同様のサービス提供によるグローバル化にチャレンジしてまいります。

II. 第5次中期計画の事業戦略目標と重点テーマ

1. 事業戦略目標

事業戦略目標は、第4次中期計画の「石油、石油化学分野における受注維持・拡大」、「一般工業分野の受注拡大」、「海外事業の拡充」の方針・目標を基本的に踏襲しつつ、次の新たな方針・目標を掲げ、取り組んでまいります。

① 既存顧客に対するメンテナンスシェア拡大

- 既存顧客における工場内での仕事幅の拡大
- 顧客動向、設備計画に対応した改造・新設工事等の受注拡大

② 新規分野・新規顧客の開拓

- 過去取引のあった分野・顧客の掘り起こしによる受注拡大
- 未参入地区、未参入工場に対する営業の強化と受注獲得
- エンジニアリング能力・技術を活用した改造・新設工事等の受注拡大
- 食品、ガス（LNG）、電力分野を重点攻略分野とした受注拡大

③ 海外事業の基盤強化

- 中国、東南アジアを中心とした中小型のEPC案件の受注獲得
- 海外メンテナンス事業への本格参入・展開を目標とした戦略案件の受注獲得
- 海外拠点の整備およびプロジェクト運営体制の強化による海外事業の拡充・安定化

2. 重点テーマ

上記の「事業戦略目標」を達成するため、「One to One Maintenance」を事業コンセプトに、次の重点テーマ6項目を掲げ、お客様に対し業界トップクラスのサービスを提供してまいります。

- ① 安全と品質の確保を第一としたサービスの提供
- ② 技術力の強化と活用
- ③ コスト競争力の強化
- ④ 営業力の強化
- ⑤ 人材育成
- ⑥ 経営システムの強化

Ⅲ. 経営戦略数値目標

第5次中期計画の最終年度である2015年度（平成28年3月期）において、連結完成工事高1,000億円を目指すとともに、成長戦略、経営基盤強化のための投資を実践してまいります。

1. 業績計画

第5次中期計画最終年度（2015年度（平成28年3月期））業績目標

<連結>

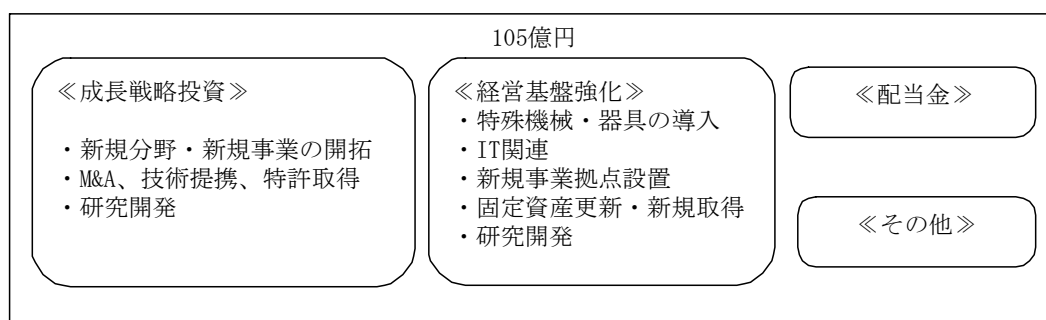
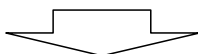
(単位：億円)

	2015年度目標
受注高	1,000
完成工事高	1,000
営業利益	82.0
(率)	8.2%
経常利益	83.0
(率)	8.3%
当期純利益	50.0
(率)	5.0%
配当金	30円

2. 投資計画

2013年度～2015年度

140億円（フリーキャッシュ増加額 純利益＋減価償却費）



以上